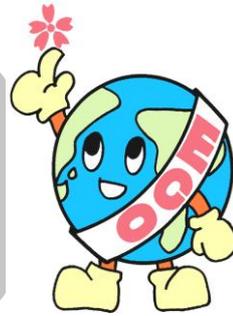


エコニュース さって



第 58 号
平成 27 年 3 月 15 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

第 34 回幸手市健康福祉まつりに参加して

報告：澤村、小谷

さって市民環境ネットの展示コーナーは今年も大盛況でした！

11月2日(日)10時～15時、「健康福祉まつり」が昨年と同様にウエルス幸手においてアスカル幸手の「幸手市文化祭」と同時開催され、33団体が参加し、昨年より多く1,100人が来場してくれたそうです。

さちネットのブースも昨年よりも多くの方に観ていただき、独自のクイズラリー紙へ343人の回答参加(昨年は328名)をいただきました。景品は環境課と、腐葉土と野菜づくりの会(収穫したサツマイモ)に用意していただき、今年も景品を種類ごとにサイコロを振って出た目と合った景品を持って帰る試みをしました。この試みは見学に見えた皆さんには非常に楽しかったようでした。

クイズラリーには幅広い年代層の方が解答してくれました。

	小学未満	小学	中学	高・大学	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	不明	合計
男性	8	12	1	1	2	11	6	2	7	8	2	38	98
女性	4	23	2		5	17	13	11	19	10		119	213
性別不明		1	1				2					28	32
合計	12	26	4	1	7	28	21	13	26	18	2	185	343

ブースの展示物は昨年と同様に、①腐葉土と野菜づくりの会、②浮きウキフェスタ26、③中川探検ウオーク、④エコライフ DAY 2014、⑤市民環境講座の各コーナーの担当者から年間の活動内容を懇切・丁寧に説明し、そして質問に対しては相手の立場に合せて応えるなどして、来場した皆さんに当ネットの活動内容をアピールし、環境配慮・保全活動に理解・関心をもっていただくことができました。

一方2階で行った⑥映写会は自然と年寄りを大切にするような子供向けの2件のアニメ、マグネチュード7の大震災への体験談から防災対策を学ぶ上映しました。

最近では活動内容へ深入りした質問もあり関心が増えてきたような気がしました。主催者側に提出されたアンケートに「いろいろ体験できた」、「いろいろな事を教えてもらった」、「知らないことばかりだったので勉強になった」、「一生懸命に説明してくれた」、「市民が参加できる場だと思った」、「今後も継続をして欲しい」、「大人から子供まで楽しめた」など社会福祉協議会から報告を貰いました。



左図：準備万端！



右図：サイコロの目はいくつかな！

第9回子育て応援まつりの結果

報告 久保田、小谷

12月14日(日) ウェルス幸手にて「子育て支援まつり 遊&愛」が開かれました。実行委員会のメンバーでもあるさって市民環境ネットも参加し、活動を紹介する展示、親子で遊びの工作コーナー、それと映写会を行いました。

活動紹介では、環境講座、浮島づくり、腐葉土と野菜づくりの会、エコライフ DAY のパネル展示などを行いましたが、セアカゴケグモが幸手で発見されたニュースなどにちなみ、地球温暖化と結びつけたタイムリーなパネルも展示できました。

遊びの工作コーナーでは、アンパンマン・ジグソーパズル、折り紙とんとん相撲、糸電話、紙コプター、フーフーボール、磁石で釣りゲーム、紙の飛行リング、チューブレーン、ふわふわネコ、銅線と磁石・電池で作るリニアモーターカーなど、盛りだくさんすぎるくらいの遊びを用意しました。スタッフの数からみて、すべての遊びを十分に紹介することができず、ちょっと多すぎたかなと思いました。どんな遊びに人気がでるかなと思いましたが、断トツにこれだというものは無かったようです。ぱっとみて、どんな遊びに目がいくか(見つけるか)、どんな遊びに集中するか、子どもによって個性が現れてくるようです。また、どの遊びをスタッフが紹介するかによっても、違ってきますが。その中でもストローの先を四つ割りにして、スチロールのボールをのせ、ストローに空気を送ってボールを浮かす「フーフーボール」に集中して取り組んでいた女の子が印象に残っています。

遊びの工作コーナーには、昨年に引き続きボランティアの中学生2名が手伝いに来てくれ、子どもたちの相手をしてくれました。2人とも熱心に折り紙や工作を手伝ってくれました。

会場2階の一室で行われました映写会では、幼児に何時までも人気の「アンパンマンとばいきんまん」、今もTVで放映されて子供たちがよく見ている「忍たま乱太郎」、幼児に少し難しかったかも知れないが、ファンタジックな物語の「スノーマン」が上映されました。まつり会場にきました子供や親御が見ている何時も思うことは、日本のこの世の中をもっとよくして子供達に引き継いで行かねばならないと思っています。映画も情操教育に一手段としては良いと思っています。ですから、内容のある良い作品を一本でも多く見て欲しいと思っています。



大きいのが釣れた！



バイキンマン完成！



フーフー落ちないで回るよ！

平成26年度第3回市民環境講座（環境出前講座） 報告：中山

平成27年1月28日、10時40分より2時限を使って、八代小学校、4年生（17名）を対象に「包そう（装）のエコについて」の環境学習を行いました。

日本の包装技術は素晴らしいものがあり、包装容器の形状、素材、方法等で十分な頑丈さを保持しかつ軽量にするかの工夫がされており、その結果環境負荷の少ないものへの技術革新がなされています。

児童たちへの環境学習は大別して3部に分かれ、まず3R（レデュース、リユース、リサイクル）の概要説明、包装のエコについての説明、そして同じような容量の容器でも素材、形状等で重量に大きな差があることを実際に体感する計量実験を行いました。

実験は3班に分かれ、各々牛乳ビン、ビール缶、ジュース缶、コーヒー缶、PETボトル飲料水500ml、PETボトル炭酸飲料500ml、液体洗剤（ボトル、詰め替え袋）各容器2個（重いもの、軽いもの）を計量し、記録しました。

全員が計量を行うように交互にし、重いもの、軽いものの計量値を読み上げ、残りの児童はそれを記録しました。計量器の中心に缶を置くようにしなければ、正しい計量ができないことの注意が必要でしたが、全員が正しい計量を行いました。全てを計量した後で、重いものと軽いものとの差を計算で算出しました。

また、実験の最後に小さく見える牛乳ビンの容積が変わりないことを実際に200ccの水を入れて確認しました。軽く、小さく見えるビンはガラスの厚さが薄いため軽いことが分かりました。

実験を通じ、同じような大きさの容器でもその重さに差異があることを体感できたと思いますし、また包装容器の素材にもいろいろなものがあることも学習できたのではと思います。

一方で、児童が、90分間、真剣に楽しく面白く飽きずに取り組んだことに、校長先生、教頭先生や担任の先生が児童の行動にビックリされたとともに、児童が会社の3R対応努力と普段祖父母、父母や兄・姉がやっていることに倣って資源ゴミとして、きれいに洗って分別排出していることが、4年生という新鮮な頭に貴重な環境配慮情報として理解され、勉強になったろうと思えました。最後に、校長先生から感謝の言葉と共に、来年度もお世話になるかも知れませんかとおっしゃられていました。初めて参加したスタッフの大人からも大変良い勉強になったとの感想でした。



左側写真から：
包装の3Rとは！

重いガラスびんは
何gかな！



皆で交互に量って
います！

結果発表；何g軽
いかな！

第6回「冬の野鳥観察会」開催

報告：坂本

恒例となっている「冬の野鳥観察会」が今年も平成27年1月31日（土）に埼玉県生態系保護協会の青柳 進先生を講師にお迎えし、38名の参加を得て開催されました。「観察場所は中川、行幸湖、高須賀池周辺でした。9時に北公民館に集合した参加者は本日の予定を聞いた後に、各自が持参した双眼鏡やカメラを首にかけ、冷たい風が吹く中を9時10分に出発しました。

まずは中川に架かる外野橋を渡り、講師が望遠鏡から参加者にみせてくれたのが、「タシギ」でした。次に、行幸湖にいた「カワウ」、「ダイサギ」、その後、行幸湖から中川の干潟にいる「コガモ」や他の野鳥を眺めながら土手沿いを進み行幸橋を渡り、高須賀池に向かいました。そこで一息。高須賀池では「オオバン」、「オカヨシガモ」、それと青い宝石といわれる「カワセミ」を発見しました。「カワセミ」は、何人かの参加者だけが講師の望遠鏡からその姿を捉えることができました。その後、再び中川の土手を登り観察しながら北公民館に11時40分に戻りました。

公民館の会議室で反省会を開き、講師から本日観察できた30種類の野鳥の名前の報告があり、そんなに多くの種類がいたのか？との声も聞かれました。（去年は35種類）最後に参加者全員の感想発表がありました。「カワセミが見られてラッキー」、「野鳥の名前が覚えられない」、「講師のお話が聞きたいので、もう少し小人数にして」、「鳥の名前だけでなく何を食べるのか、どんなところに住んでいるのかなどの生態についても教えていただきたい」、「また、参加したい」、「大変楽しかった」等々の発言があり有意義な観察会でした。

【観察できた野鳥の種類】

カイツブリ、カワウ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ホシハジロ、ダイサギ、アオサギ、オオバン、バン、イカルチドリ、イソシギ、タシギ、トビ、キジバト、カワラバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、メシ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス（30種類）



講師の指示にしたがって双眼鏡でも見えた！



快晴の下で、高須賀池で全員写真！

★連絡事項

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。

是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕

★問い合わせ・申し込み ★ 澤村 邦夫(代表)まで TEL 0480-42-3384

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園 20期)